

終活のとらえ方

葬祭カウンセラー

終えん

暮らし
家族
生きがい
実務
介護・医療
相続・遺言
生前意思の反映
エンディングノート

没後

死生観
遺族
供養慣例
実務
納骨・法要
承継・追善
故人遺志の反映
メモリアル・慰霊

臨終
葬儀・告別式
火葬・お墓
地域習俗
葬祭サービス
業界展望

終活カウンセラー

お葬式の知識

複合語短縮

お葬式

葬儀 = 葬送 + 儀礼
告別式 = 告別の式典

二つの異なる目的の行いが同時進行でなされている！

複合語が短縮されたもの

葬祭 = 葬式 + 先祖祭祀

エンディング



あわせもって考えておくべき

お葬式・お墓・供養・・・この3点に特化した
基本的な知識と資質を有する人材
『葬祭カウンセラー』

『社会的現実』 = 通念化されたお葬式

小規模

安いお葬式

現実！
質素に
簡潔に
シンプルに
簡易的に
内々で・・・
訃報の内密化
粗雑に
簡略に
割愛して
安易に
無配慮
死の孤立化



まわりの風潮から あまり違和感を感じないまま「直葬」や
「家族葬」を要望する人も多くいますが、一方的な訃報の遮断
や会葬の制限は「社会的対応」を軽視した行為といえます
会葬するかどうかは、相手が判断することからです

お墓の実務 1 種別

お墓（納骨堂など）の種別

①境内墓地

檀家のためにある寺院所有地内の墓地や納骨堂
その寺院の宗派指定で供養される・・・**護寺会費**

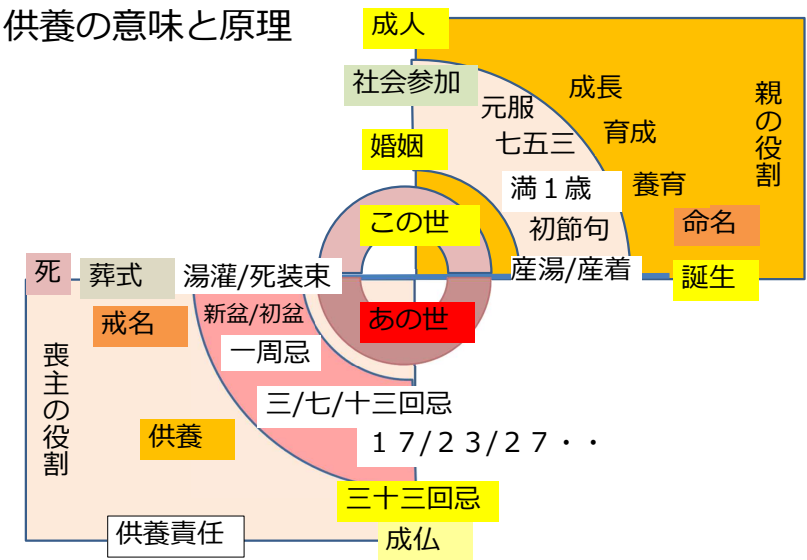
②霊園

原則、宗旨・宗派が不問・・・**年間管理費**
公営（市営・町営・村営など）
民営（公益・宗教法人名義で民間企業が運営）

③共同墓地

墓埋法以前の集落共同体の既存墓地
個人所有など伝統的承継の一方で管理者不明もある

供養の意味と原理



お墓の実務 2 権利

お墓は『買えません!』

お墓の権利構造

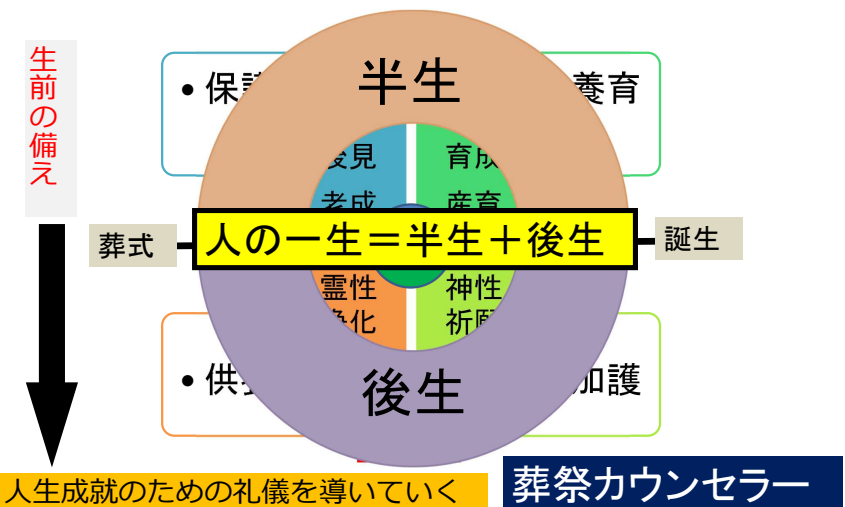
- ◆所有権・・・区画全体の敷地所有者
寺院神社の境内墓地は宗教法人
霊園などは公益法人や自治体
共同墓地は地域住民の供出や
共同所有など多様で複雑です



- ◆使用権・・・使用を所有者・管理者から許可された人
通常「祭祀承継者」（親族または規定なし）
遺族で共有することもあるが代表者が必要

『お墓を買う』ということは、永代使用料の支払いで**使用権利**を入手すること 毎年の管理費などが一定期間が滞ればその権利が消滅する恐れがあります

日本人の死生観



人生成就のための礼儀を導いていく

葬祭カウンセラー